新眞婦人

八週年紀念

第八十四號（四月號）

大正二年四月二十八日第三種郵便物認可
大正九年三月二十六日內務省納本
（大正九年四月一日發行（毎月一回一日發行）

診察毎朝及毎夕、但祭日及日曜の他

院長診察月、金、木午前及木午後六時

林、峰間、兩副長は目下當院に在勤

東京麹町三番町三十番地（市ヶ谷見附內）

東洋內科醫院

電話九段（六二番・六三番

院長　醫學博士　高田畊安

電話ちがさき二番

南湖院

神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車場半里）

河野、高橋兩副長は目下當院に在勤

院長診察土曜日午後入院診後應需

診察毎日午后、但祭日及日曜の他

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新眞婦人

四月號　八十四號

八週年紀念 婦人と社會問題號

社會問題はモウ學者の問題ではありません。何人をも考へさせねば止まぬ實際問題となつて迫つて參りました。

女中問題、家屋の問題、子供の教育の問題など、手近かな所から、ヒシ〱と私共婦人にも迫つて參りました。

私は之れを痛感して婦人社會問題を發起したのですが、此の感じが何人にもある證據には、此の會の發會講演會には滿場立錐の餘地なきまでに參會者がありました。

彼の講演會の時の私の講演筆記は前號に掲載しましたが、本號には、與謝野、三角宮田諸先生の筆記を掲載することを得ました、前號と本號とを併せ讀まるゝあらば、私共の意のある所を承知して頂くことが出來ましやう。

私は何時も「今日、日本婦人に何によりも先きに考へて頂かねばならぬものは、何んであるか」を考へて居るものであります。而して微力ながら考へ得た所を發表することを怠らないものであります。

私の希望は斯くして廣く同志を求め、同志と共に實際運動に着手したいと云ふ點にあるのであります。

どうか此の「婦人と社會問題」號を御讀み下さつて、是れを參考にして、尚ほ深く社會問題を御考へ下さい。婦人社會問題研究會の會規は卷末にあります。(西川文子)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ラッセルの結婚論に就て

成女高等女學校長　宮田修

近來改造の聲は到る所に喧しからざるなく社會のありとあらゆる者は改造せられねばやまない形勢であるが物にはすべて內と外、表と裏の二方面がある如く、改造にも亦精神的のそれと、物質的のそれとがあると私は思ふが、今日叫ばるゝは物質的改造のみにして精神的方面は逸してゐると思ふ、それを事實とすれば危き改造であるといはねばならぬ。我々は社會改造のために努めると同時に、その點に就いて注意を拂はなくてはならぬ、その中に注目すべきものがあるといふのは此ラッセルの改造論である。バートランド●ラッセルは知らるゝ如く英國現代の貴族であり社會主義者であつて、彼の著書は夙くから我國に入り飜譯書も二三出てゐる。彼は數學者哲學者として英國に有名なるのみならず、世界の人として有名であり、我國でも、オイケン、ルグソンの盛に稱へらるゝ頃一方に於て彼の名は稱へられてゐた。

一、結婚忌避の理由

結婚問題は非常に大問題であり、將來に於て益々大問題となるべきものである。ラッセルの言に從へば、英國に於ては此問題は危機に瀕してゐるとのことである。

ラッセルの此結婚論は全體に渡つたものではなく、政治的制度の上より、即ち結婚の物質方面よりの論である事を彼自身も稱へてゐる。

ラッセルはその最初、歐羅巴に於て益々人口が減少して來る、歐羅巴人は之を非常に憂ひてゐる、殊に優良なる階級の間に於て特にこの傾向が著しい文明に貢獻しやうと云ふ優良人種の減するのを憂慮して論じだ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

したのである。

何故に人口が斯く減少するか、特に優良人種が減ずるか、ラッセルは三つの原因を擧げてゐる。男女の結婚に障害が種々ある。それは英國の現在の法律は、結婚生活を生涯の仕事として決めてゐる、これは我國も同じであるが、これを改造しなければならぬ。初めから夫婦は一夫一婦で、終生かはらざるものでなければならぬといふので、英國の宗敎が一切離婚を許さなかつた。今日では許されてはゐるが、事實では容易に離婚が出來ない。

所が玆に不自由な事が起つて來る、昔の男女ならば男に對して女であり、女に對して男であり、唯性が異りさへすれば添ひとげられたものも、今日では事實は變らないが、結婚の當事者は複雜になつて來て終生此人と添ひ遂げられるといふ事を徹底的に考へるのには複雜になつてゐて容易に考へる事が出來ない。結婚して見て、もし氣に入らなくても離婚は出來ずいや／＼添ひ遂げねばならぬ事になるならば、結婚しない方がいゝといふのである。

併し、男女が共に相提携して行くのは人爲ではなく大自然の要求である。こゝに於て法律の規定に基いて正式の結婚をするのは冒險だから、それをはなれて私かに同様の事を行ふといふ様になる。ラッセルの言によれば此は英國に於て多數に行はれてゐるといふ事である。此方法は世間に知れさへしなければいゝので、かういふ關係の人はなるべく子供を生まないやうにする。

第三には、近頃の婦人は一般に結婚を避けやうとする傾向がある。尤もそれには同情すべき理由がある。といふのは結婚は全然殆ど男子の專制政治だからである。昔の女は男の手にぶら下らなければ金を持續し得られなかつたから、無自覺にそれを喜んだが、婦人はやがて理智の目を開いて、自由を希び解放を叫ぶ、之を男子が直に受け入れゝばいゝが、男子の長い間の習慣性となつてゐる女子壓迫はなか／＼一朝にして革らない。從て新しき婦人は結婚を忌避する様になる。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

この三つの原因が錯綜して出産率は少くなるのだと論じてゐる。

二　三つの難問題

若し正當に結婚するとしても、玆に又難問題が三つ出て來る。その一は責任感の强い兩親は子供に充分なる教育を授けるには費用が嵩んで來る。これは非常な苦痛であるから、なるべく子供の數を少くしてゐる。第二に、女子は子供を生めば活動がにぶるから子供を澤山に持ちたくないと考へる。第三には、文明國では不思議に女子が多くて男子が少い。殊に文明都市には女子が非常に過剩である。これも人口を少くする一の原因をなす。

此の意味に於て人口は漸次に減少してゆく、もし此のまゝにして進むならば由々しき大事であつて、ラッセルはこの結果を三つあげてゐる。第一は文明國に於ては人口は次第に減少する。第二、文明國の人口が減少するならば、やがて未開の國家に征服せられ、從來の傳統は失はれてしまふ。第三、その結果として、世界の文明が低下して來るといふのである。

三　國家として救濟せねばならぬ

それは國家として大問題であるから、かゝる恐るべき憂ふべき點は、國家として救濟せねばならぬとラッセルは云つてゐる。第一、法律上の改正である。法律が結婚制度を窮屈に支配するのをやめて、獨り子供の上にのみ止めて法律をこしらへねばならぬ。

第二、經濟上の救濟法である。これには二通ある、一は子供が生れたらば養育費を全部提供すること、又賃銀を得る婦人が母となれば、その賃銀を國家で支拂ふ事とする。此だけの方法を講ずれば、人口の減少は救はるゝといふのである。正式に結婚したと否とに拘らず、母となつた以上は國家は育兒費と育兒の便宜を與へるといふのである。縮めていへば、ラッセルは子供を生むといふのが、社會的の義務であるといふ觀念をもつた新社會を組織しなければならぬといふのが議論の根本である。生む人も社會も子供中心としなければならぬといふのである。併しこの議論には大分反對

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

があらうと思ふ。ラッセル自身も反對をうけずして通るとは思つてゐないらしい。之を我國に就いて考へると、その反對のあるはいふまでもない。私自身も或方面からはいゝと思ふが、又一面からはよくないと思ふ事がある。

一體子供を國家のものとしやうといふのは、ラッセルばかりではない。既に希臘のプラトーに依て稱へられ、又近頃オースタリーに、ヘッセ、マイセルといふ人が同樣の說を樹てゝゐる。が我國の如きは子供の養育費を與へるどころではない。この點に於ては子供を何とかしてほしいと思ふ。併し一旦社會がかういふ風に改造せられても結婚はすら／＼とゆくものでない結婚生活は決して必要上からのみ營まるゝものではなく、これも亦文藝哲學などゝ同樣に人生を價値づけるものであるが故に、子供の事がよくなつたからとて、結婚生活が幸福になるものではない。それはラッセルの論以外に、精神的に、內面的に結婚を安立し幸福にしなければならぬ。ラッセルは之を新しき宗教、正義と自由と愛とを基とする新宗教によらなくてはならぬといふ。

四　社會的の自覺を

かういふ心配をさせる原因はどこにあるかといふにこれは結婚當事者の問題であり、女子自身の問題であると思ふ。教養あり識見ある女子が、又教養あり識見ある男子と結婚するならば何の問題も起らないわけである。女子が結婚を避けやうとして來たのは結婚すると男子が女子に壓迫的に向はうとするからである。その男子の壓迫に堪へられないからである。解放せられたる婦人は男子の許に屈從する事を欲しないからであるが、さうなると人生は殺風景なものになりはしまいか、人生はさう云ふものではない、男子が女子を喜ばせ樂しませる如く女子も男子にさうする。

人生には詩も歌も生甲斐もある樣でなくてはならぬ人格的價値を向上させなければならぬが女子が自己の權利のみ考へるならば如何に男子が考へても結び付けない。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女子が主義的の婦人解放にのみ走るのは、男子を毒し、女子自身を毒するものである。男女は然かく決して睨み合ふべきではない。それでは國家の衰亡を來さなければならぬ。婦人解放の時期ではあるがその車の押しやうを考へなければならぬ。

ゆきえ

橘三郎

○傷心

思はじとかなしく心さだむれど見れば日に日にやすけくもなし

むらぎもの心くるしさ堪へがてに俯しては思ひつ涙なかるを

言葉なく戀ほしきひとは前に來てわがさみしさは極まりにけり(夢)

相思はぬ人を思へるうつゝなに涙たりくもさみし朝明け

ぬば玉の黒髪の子のやさしさを咽ぶがほどに思ほゆるかも

ふと見ればいのち死なむとつきつめし我れ此處にあり泣ける心に

毒のみて生命死にせしかなしかる人の心のわれに來にけり

○一人

燕來る春のふかきに愁ひつゝ君を思ひてありがてなくに

たまきはる生命はさびし天地に一人のひとを思ふいのちは

霧あらし天神橋をこのゆふべ風船賣りは往きにけるかも

さよふけの水の都の霧のなか心せまりて泣かれんとすも

たらちねのはゝにその名を告りし夜は泣きて心に思ほゆるかも

はしけやし妻となる子がはつはつにわが名をよぶはかなしかるべし

心ぐき悲しきひとをほのぼのとゆふ花かげに見んと思へや

(大正九年一月作)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

眞の教育

三角錫

はしがき

私は今教育と云ふ題を以て茲に立つて居りますが、それは私が學校を經營して居る所謂世間で申す教師と云ふ立場から申すのではありません、知識にも經驗にも乏しいしかも世におくれた一人の女が、過去の失敗から教へられ、内へ／＼と求めて居りました事が、いつか外へ／＼と出る力になつて表れた。其の表れの一つでございます。夫故自分の事を語るより外何の知識もございません。その中から或は皆様がおひろひになる何か一つ二つの得ものがありますかどうか夫さへ疑はしいのでございます。

私はかつて斯ういふ事をきゝました。凡そ力の働く方向に、中心を目がけて内へ／＼と進むものと、中心を遠ざかつて外へ／＼と發するものとの二種類がある即ち求心力と遠心力の區別である、前の方を青の色合と云ふならば、後の方は黄の色合と云ふ事が出來る。青には内に求むるシンミリとした落ち着きがあり、黄には外に發散するはでやかな陽氣がある、この内に求むる靜な世界から、外へ外へと求むる黄の世界即ち動の世界へ出る道は只一筋の其人のみ通る道であり、肉の耳では聞えぬ音も、肉の眼では見えぬ色も、聞えたり見えたりする道であり、これが創作的生活をする人のゆくべき道であるといふ事をきゝました、おこがましい申條ですが私はこの話を聞きました時は、全く自分の體驗したことを美くしい言葉で述べて頂いた樣な心地がしました。

維新の改革が人心に與へた刺激に目覺めた若い武士を親にもつた私共はすみ馴れた土地も家も弊履の如く

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

郷つて旅から旅に暮れ、百事意の如くならず旅の空に頓死した父のあとを引受けた私共兄弟は、めい／＼の身體の外殘された何物をも持つて居ませんでした。兄弟の頭にあつた私が四人の弟と母と祖母とを手一つに扶養せねばなりませんでした。この事實は私の耳に警鐘亂打の如くに響いて、美くしい幻の夢の幕はこゝで切り落されました。かてゝ加へて四人の弟に大學の敎育をうけさせたいと云ふ私の大望は四圍の何物にも顧慮せず、先生の忠告にも耳を貸さず、凡てを敵にして驀進しましたので、知つてゐる限りの人にはあきれて見放されましたが、天は其の志を嘉されたと見え其處に見も知らぬ幾多の同情者が表はれて、到頭遂げさせていたゞきました其の當時の幾多の艱難は物質上のみならず、內部生活にも可なり多くの苦しみで私を自覺させてくれたと思つて居りましたが、それはほんの序幕で厶いました。天はなほ私を誡むべく又私を救ふべく、恐ろしい病を下されました、併かし私は怖れも憂も致しませんでした。大望を企てます時自らの生命は召されてもと、神々に祈つたのでございます。茲に其の運が來たのだ、これが天惠であると覺悟して居りました。併かし優しい弟達の心配、今死なせてはならぬと云ふ苦心を見ます時、私はふと直つて見やうと思ひました、不治の病に打かつのも人生の一大事業であると決心しました。丁度二人の弟が大學を出ましたのを幸ひ、逗子に隱遁しました、この湘南十年の私の仕事は養鷄と園藝でございました、この生活が私を肉體的に救つて醫師を驚かせたばかりでなく、又精神的にも救つてくれまして、茲に第二の覺醒がございました。かくして再び得た生命を以つて私は始めて、自分を憫み自分を育しみ、同時に自分ならぬ他の人にも奉仕したいと心がけるやうになりました。其仕事として、私は再びこの敎師の仕事にもどりました。種々考へました末、私はこれより外、自分でなし得る尊い仕事がないと考へ、自分が敎師となるべく受けました過去の敎育を感謝して居ります。

嘗ては所謂敎員生活をのろひ湘南に隱退した時、苦

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

界から足を洗つた様に思ひ、集つて來る人達にも先生と云ふ言葉を禁じてしまつたほどですのに、再びこの道にたち、其仕事を天にも地にもない尊い仕事と考へますに至りました其私の通つて來ました道は、宗教もなく哲學もない私には、それを皆様のお胸にふれる様に申あげる言葉をもちません、只靜かにじつと考へます時、私一人がうなづくばかりで厶います、さうして先ほど申上げました、創作的生活の二方面としてきゝました遠心力と求心力、靑と黄の色の世界のお話がそれをよく語つてゐる心地がします。『毎日々々靑い海を眺めて十年暮した私が、黄塵萬丈の都會にかうしてゐる心持ちも、家にあります時はいつも、靜かにシンミリと靑い心地で居りますものが、かゝる場合にのぞみます時は外に發散するはでやかな黄の氣分でゐるので厶います』嘗ては教師として一度死んだ私は今教師だか生徒だか一つの心持で生きたので厶います。今迄恨んだ人も、呪ふた社會もつれない他人の仕打としてながめた事も、己が屬する社會として觀察しました事もそれは恐ろしい自分の影に外ならなかつたのでございます。我と我髪をふり亂して、一大鏡面に對してゐたに過ぎなかつたのだと云ふ事がわかりました。缺點だらけの自分を許して存在させてゐた社會に感謝し、友人知己に感謝する心が起つて參りました。人を咎め腹を立つことなどの出來ない事がよく分つて參りましたどんな人も自分に親切であり、自分が知る限りの人の中で自分が一番不親切ないけない奴だと思つて居ります。只今寺小屋のやうなものを持つてる人ばかりも若い人達を相手に、小使もなく事務員もなしでやつて居ります。

日々教授はいたしますが、私が教へます事を子供がうけ入れてゆきますよりも、私が子供からうけます教訓の方が遙かに多いことをすまぬと思はぬ日はありません。それ故に自分はもつと考へもつと研かねばならぬと考へて居ります、こんな立場から考へまして私は所謂教師でなく、むしろ家庭の母、社會の一人の人としてこの教育と云ふ事を考へて見たいと思ひます。で

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ありますから私は今教育を一の學問として考へませんで、私の實際が教へてくれました事として考へて居ります、今又これを人の言葉をかりて申のべて見ます。

●●●●●●母親の偉大なる力

最近ルーバン大學の教授オーブル博士の言として『眞の教育は教育學よりも教育を、理論よりも實際を學校よりも家庭を、教師よりも母を、統一よりも自由を、國家民族よりも、人間を、智よりも情を、科學よりも良心を重んずる、言ひ換へれば眞の教育はすべての教育の根本精神たる品性の修養を必然にもたらすものである。』といふのを讀みました。

かくて、私共は誰でも女であるが爲に母となり、又教師として、其の母となる女子を教養する事に重い責任と尊い天職とを感ぜずにはゐられません。この博士の言葉の中にある理論よりも實際をといふ其の實際、統一よりも自由をといふ其の自由、國家民族よりも人間をといふ其の人間、智よりも情をといふ其の情、科學よりも良心をといふ其の良心、さういふものは皆家庭で母が育むべきもので、學校は理論統一、科學といふ方面にかゝり、兩者相俟たねば固より眞の教育は行はれません、その何れが重く、何れが輕いといふ事は固より言へないが、併し土臺のない所に建築は出來ません。素養のない者への訓練は至難の事であります。學校の教育を効果あらせるのは、偏に家庭の母に俟たねばなりません。現在の樣に婦人の智力が足りなくては、到底教化の實をあげる事は難いと思ひます。智識は人生の目である。智が鈍つてゐて、どうして自分の行くべき道がわからう。古來婦人の位置が段々と下つたその原因の一つは、確かに此の智識が劣つた爲めだと思ひます。それで私共は婦人の高等教育の必要を主張します。

が、私は今日は其の問題に就いて言はうといふのではありません、今日の如く無智なる婦人にも、母なるが故に社會に貢献し得るといふ事に就て申上げたいと思ひます。

●●●●●●●各國の教育改造と婦人

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

教育が家庭、學校、社會の三つによつて行はれ、この三つが完全にゆかなければその効果を全くしない事は言ふまでもありません。國家の富も發展も皆この教育の完成に俟たなければなりません。歐洲の大戰はこの方面にも亦種々の改造を促しました、獨逸が戰前既に八年の小學教育と四年の補習教育卽ち十二年を義務教育としてゐた結果、個人として比較すると獨逸兵の方が英佛よりも勝つてゐたゝめ、英國ではロイドジョウジ内閣の時に、五歳から十四歳迄の九年を小學教育とし、尙其上に四年を補習教育とし、義務教育合計十三年の新教育令を出し、佛國は小學教育八年、其上に男子は二十歳迄、女子十八歳迄の補習を義務教育としてゐます。六年の義務教育すら、町村はその負擔に堪へず一級七八十人もつめ、更に二部教授まで施してゐる我國の現狀と比較して其違の大きいのに驚きます。

目下の我國では、自分の力で教育し得る父兄は、六年の小學校を卒へ後四年乃至五年の中等教育を、唯の普通教育と心得てほしいと思ひます。其の十年の學校教育も、自己の修養克己の精神などいふ事に家庭の素養をもたなくては、正しい良心力強い勇氣を持ちませんから、學校の教化も豫期丈の効果をあげてゐません家庭では又學校にやりさへすれば、柔順になり聰明になるものとばかり考へ、學齡迄の教養、學校へ出てゐる間も家庭にある一日の約三分の二の間の教養の缺陷を無視して、凡てを學校に求むるのは無理だと思ひます。併し今假にこの二つの　力が出來たとしても、其子は學校が斯くありたいと願ふ子にもならず、家庭が斯くありたいと願ふ子にもならすといふ場合が多くあります。茲に私共は環境卽ち周圍の影響の如何に大きいかといふ事を思はねばなりません。或時には母として自分の無力に泣き、教師として自分の感化のいかにも小いのに泣いた事が幾度あつたかわかりません。

茲に私共は自分の子孫のために社會を改造せねばならぬと思ひます。まして私の樣に物質上に貧しく子供の學校教育すら漸く受けしめて居る樣な境遇の者では社會の惡化から特別に影響を避けて自分の子供を保護

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

する力を持たないために、此方面の改造を國家の力に仰がねばなりませんが、凡てを國家に任せて安閑としてゐる事も尙更出來ませぬ。さりとて社會は子供を惡化し、學校の設備は不充分であり、根本をなす家庭の教育も亦母の智識の不足より思ふに任せぬ目下の此の狀態を徒らに憤慨し、痛嘆し、又攻擊するばかりでは何の甲斐もないと思ひます。私は玆に單なる人間として考へ、よりよき自己を殘して、自分の屬する國家を優良ならしめるためには自分の子を自分より優るものとして次代に殘さねばならぬ。それが人生の意見であると考へる時、徒らに社會國家に要求する前に、まづ自己に反省し、自己に求めねばならぬといふ所に立ちかへりますが、自己とは何であらうか、私は先づ自己を發見せねばなりません。その自己は天地間あらゆる進化の現象を起す單位であります。人間は其進化に伴ふ働を自覺して、初めて自己を見出します。そこに自己の天職が發見され、努力の愉快といふものが生じます。

●●●●●● 教育者たる自覺

斯くて自己を進め、個人と個人は合力して社會を進め、尙進んで國家の進境が望まれます。國家も個人の意見の完全なる發展をまつて、初めて世界的の地步を占め、世界の尊敬に價する域に達せらるゝのであります。斯くして人は男女共に己をつゝしみ、己を見出すとによつて、國家社會の內容を善良にしてゆき、現代の國民は次代の國民たる自分の子孫に對して立派な教育者であり得るのであります。家庭が學校や社會を呪ひ、學校が家庭を誹る事がなくなり、玆に初めて眞の教育は行はれます。現今の樣に途上や電車の中、或は其他の場所で起つた事で、身を以て幼少の者の前に立ち、その目や耳に入らしめたくないと思ふ事にどれだけ多く出逢つてゐるかわかりません。車中や途上はまだしも、自分の家で、自分の面前で、來客の一人からまだ嘗て子供に見聞かせた事のない、さもしい、卑しい事を言はれる時、私は淚がこぼれる樣な腹立しさを覺えます。斯る事は學生にも子供を持つてゐる人にも

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

決してなく、中年の男女にのみ限つてあります。又子供のある人でも我子として考へる時と、只自分の對照として其處に居る一人の異性として考へる時には、態度は非常に違ひます。苟も相手がまだ教育されつゝある時期の年齢である限り、いつでも自分は教育者といふ立場に立ち其受けてゐる教育を妨げないやうに心がけ、尚進んではよりよき指導者になるといふ事を忘れてはなりません。

殊にこれを私は婦人に要求します。教育の根本が學校よりも家庭にあり、教師よりも母にあり、理論よりも實際に、智識よりも情に、科學よりも良心にといひます時、これを全くし得る使命を持つてゐるものが婦人をおいて外になしといふ事は誰にも首肯される事であります。此の使命を果すために婦人に學識が必要な事はいふまでもないが、私はたとひ無識であつても婦人は婦人なるが故に母なるが故に出來る力を持つてゐると思ひます。

愛は女の持つてゐる自然の力であります。女の愛は自覺によりて自己を發見し、社會の進化にかゝはるのであります。意志の力がこの本能の力と一致する時、最も強い働を起します。戀愛の心理狀態は此働きの表れであり、母が子に對して持つ愛情もやはり之であります。要するに個人は各自に自己を發見し、自己を進める事によつて社會を進め、茲に個人なく國家なく、自己なく社會なく、之等が一如になれば新しい道は開けて來るものと信じます。そして之は誰にでも出來る又せねばならぬ仕事であります、かくて社會はそのまゝ學校であり樂園であり、子女は安心してその中に自由に遊び、自由に學ぶ事が出來るのだと思ひます。

詩なる歌なるわれをわれとし世に馴るるわれをわれとし生きゆくものか

こしかたの詩なる歌なる美しさふりかへりつつ世に馴れてゆく

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女は悲し

原田なみぢ

うつし世に女かなしも琴たゝき君によりそふ魂いつくしめ

征服の矛を立てたる君ならめ『愛しき小鳥よ唄へよ』の聲

日輪のめぐれるひびき我が魂に短き命ささやきてあり

美しき命たたへん心もてほまれも名をも捨てつある日か

身も魂も消くもだして目をとぢて祈りてありぬをとめ尊し

たまきはる命惜まん君がため君がためなる女かなしも

ひたなげき返らぬ若き日にしはあれ今ひとしほの匂ひあらめや

ひた心寂びてかそけく口笛をとめなればと羞みて吹く

冬の日の朝のしづもり貧しくも鏡にうつる笑みのさみしさ

朝ごとに貧しき面を鏡ゆ見化粧してける女さみしも

夕げ了へあが母君の肩もめば睫毛ひかるか老ひ給ひしな

ともし火のかげゆほろ〱涙してゆける兄上のまぼろし浮む

夜としなれば白きしとねに病み逝きしおん兄上の面かげに立つ

うつそ身は永遠にかなしもじん未來悔いとなげきの絶ゆときかじを

* * * * *

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女子の社會問題研究

與謝野晶子

皆さん、今日こゝに社會問題研究會の第一回が開かれました事は、御同様に多大の喜びで御座います。わたくし達は先づ首唱者となられた婦人達の熱心と努力とに感謝致さねばなりません。わたくし達のやうな修養の勇氣の乏しい一般無産階級の婦人は、常に模範的な指導者から好い刺激を與へて頂くと否とに由つて非常に幸不幸があります。この會の講演者達が悉く好い指導者であると云ふ事實を示されるであらうと期待して、わたくしはこの會の未來を祝さうと思ひます。

併しながら、指導者は要するにわたくし達を助成されるだけのものです。産婦に於ける産科醫に等しいものです。社會問題の研究はわたくし達各自の研究でなければなりません。わたくし達は此點にも依賴主義を全く抛たねばなりません。

わたくしは此機會に、社會問題研究の目的及び態度に就て所感を一言して、皆さんの御批判を願はうと思ひます。

研究と云ふと、何か專門の學術でも修めるやうに誤解する人達が無いとも限りません。即ち學者風の態度を以てする研究のやうに誤解する嫌ひがあります。この誤解が先入見となると、研究が何かわざとらしく、餘所行きの事になります。研究室とか、教室とか、講習會とか、或は今日のやうな斯う云ふ會場へ集らねば出來ない講演會とかに於て、特別に大仕掛でする事のやうに考へるやうになります。さう考へると、研究と云ふものが實生活から遊離して專門化して仕舞ひ、餘程特種な才分を持つと共に、餘程特種な暇と財力の保障とを持つた女子で無ければ實行し難いものに思はれ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て、わたくし達無產階級の女子には緣の無い、別世界の消息でも聞くやうに、全く其れを冷淡に閑却する惡るい習慣が生じます。

　この誤解を訂正するために、研究の目的が何處にあるかを明確にして置く必要があると思ひます。

　わたくし達は各自に一人の完全な人格的獨立を實現したい爲めに生きて居るのです。言ひ換れば眞實の人間らしい人間になりたい爲めに生きて居るのです。人生萬般の問題と事實とは、實にこの個人の完成を最終の目的としないものはありません。この目的を內含して居る限りに於て何事も實生活其物です。若しこの目的を裏切る結果の豫測されるものであるなら、それが通俗の意味で實生活らしく見えるものであつても、聰明な批判の前では虛僞の生活です。斷じて實生活の名に値しないものです。

　研究も個人の完成を最終の目的として居る限り、全く實生活其物です。卽ちわたくし達が人間として完全に獨立したい爲めに、人間生活の內容の全範圍に亘つて、すべてを知り、すべてを批判し、すべてを改造する活動が研究です。人間生活の中の最も基本的な活動です。

　研究の無い所には、生活を統一する理想の自覺が無く、理想に由つて秩序づけられた實行がありません。すべてが妄動になります。之を思ふと、研究は何人にも缺ぐことの出來ない生活內容です。學者や指導者にも研究が必要であると共に、わたくし達にも研究が必要です。唯だ學者や指導者は多く研究室に於て研究する代りに、わたくし達はその學者や指導者の研究された結果を參考としながら、わたくし達の境遇の許す範圍に於て自ら實驗的に直接の研究をすると云ふ相違があるばかりです。

　それですから、この會の研究も講演會を開いて指導者のお說を聽くと云ふ事が主にならないで、各自がその境遇に卽して、個人の完成に必要なあらゆる問題を自ら研究すると云ふ眞劍な心掛が何よりも大切であらうと考へます。この意味に於てわたくしもこの會に贊

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

成したいと思ひます。
名は社會問題ながら、要するに個人自身の問題です。人間の參與し得る一切の問題に男子と同じく自由濶達に參與するので無ければ、わたくし達の個性が圓滿に開發することは望まれません。個人の完成には飽迄も慾深い態度が必要です。わたくし達は社會問題に限らず、政治問題、學術問題、文藝問題、勞働問題等に就ても、其等のものを常に自己の生活内容として研究を續けたいと思ひます。其等のものを離れてわたくし達の生活は存在しません。一切の問題が連帶し交錯する中に人間の生活があります。社會を離れたる個人は無く、社會はすべて個人の中に集ります。個人と社會とは相對的關係で無くて、全く一體的のものです。國際聯盟と云ふ問題にしても、人類が國際的社會の中に一體平和の生活を營まうとする欲望の表現に外ならないと思ひます。

社會問題研究の目的が既に個人の完成にある以上、わたくしは男女の性別に拘泥しないことを特に希望します。直言すれば賢母良妻主義に囚れない研究をお互に致したいのです。

この會は女子の會合ではありますが、男女の性別を誇大して特に女子の完成のために研究すると云ふやうな差別的態度を取つてはなりません。わたくし達は『女子である』と云ふ性別の自覺を、無用な方面にまで法外に強制されて、『彼も人、我も人』と云ふ人間的一如の自覺が甚だしく鈍らされて居ます。それがために、女子自ら男女共學の高等教育を遠慮したり、國民として當然に享有すべき參政の權利を拒まれて平氣で居たりする程に、個人の完成と云ふ大切な生活を忘れて居ます。

過度な女性の自覺に中毒して居るわたくし達に必要なものは、人間としての自覺です。人間として男子と平等に研究するので無ければ、社會問題研究も從來の女子教育と同じく、相變らず低級な、不徹底な、飯事同樣のものにならうと思ひます。一にも女、二にも女三にも四にも女と云ふ自覺に制限されることが、何よ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

りも女子の人間的向上を妨げます。研究は性別、國籍別、人種別、階級別から解放されて、飽迄も自由濶達な精神の中に試みられねばなりません。

わたくしの今日の所感は以上の如くで御座います。最後に皆さんの御清聴を得ましたことを幾重にも感謝致します。

人としての日本婦人の價値を論じて

鷲尾よし子

在野黨三派の提出に係る普通選擧案は、今日の衆議院に上程された筈でございます。その成否の程は唯今までにはまだ判明いたしません。けれども、私の想像では、恐らくは此案は不成立に終ることでございませう。私は此事を甚だ遺憾に存じます。

しかして尚、私は私共婦人の立場からこれに對しますれば、若し假りに此案が通過致しましても、私共はこれに依つて充分の満足は得られないのでございますなせならば、今日議場に現はれた普通選擧案そのものが、あまりに幼稚極まるものだからでございます。

在野黨三派の提出案中、最も進歩的であると稱せられてゐる國民黨案でさへ、猶婦人參政權は認めて居らないではございませんか。

婦人に選擧權を與へよ、とは、世界文明國の輿論でございまして、この我が日本の同盟國たる英國では、すでにこれを實現して居るではございませんか。かゝる現代に於て、何故にひとり我國のみは婦人參政權を認めないのでございませうか。

普通選擧の精神は、凡そ國民たる者は悉く其國の政治に參與しなければならないと云ふ主意に外ならぬのでございます。

しかして、日本婦人は國民でないのでございませう

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

か？
　日本婦人は人としての價値のないものでございませうか？
　從來の日本の歴史家は兎角社會の表面的記述にいそがしく、いつも其裏面に偉大なる勢力者のあることを閑却しがちでございます。「犯罪の裏面に婦人あり」とは、多くの場合婦人を惡しざまに云ふ意味に用ひられて居るのでございますけれど、凡そ社會の有ゆる精神的物質的事業の裏面に驚くべき婦人の力の潜んで居ることは、紙背に徹する眼光を有する者の何人も認めざるを得ない所でございます。現に此の表面的記述にいそがしき歴史家と雖も我が日本の國の國祖として女性にまします天照大御神の御偉業をお認めにならない方はないのでございます。又二千六百年の歴史を通じて最も偉大なる文學者としての紫式部を認めない人もないのでございます。幕府政治の初期に於いて、非常に政治的手腕を發揮した尼將軍平政子の如き英傑もあつたのでございます。

　斯の如く考へてまゐりますれば、わが日本の婦人は本質的に觀て決して人として、國民として、男子の下に盲從してゐなければならないやうな劣等なものではないのでございます。然るに現代の如く女權が全く蔑ろにされてゐるのは何故でございませう。遠慮なく申しますれば、これは全く男子專權の結果に外ならないのでございます。全然婦人を立法に干與せしめない結果でございます。
　私は治安警察法第五條の徹廢は勿論、進んで、婦人に選擧權を與へ、更に、婦人を立法府に列せしめるやうにすることを切望致します。
　しかして日本婦人は確に左樣の重任に堪へ得るものであることを確信致して居ります。
　又、婦人の參加に依つて初めて此國の眞の文明を促進し得ることは今更に論ずるまでもございません。
　私は、此所に御來會下さいました皆樣からも、一般に向つてこの宣傳をして頂く事をお願ひ致します。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新眞婦人愛讀の皆樣へ

京都　丹波徑子

ふとした動機から、一日西川先生を御手紙で御尋ねいたしました。先生の御芳名はかれぐ承はつてゐましたが、いまだ拜顔の榮なたまはりましたわけでもありませんし、かつて一度も寒暑の御伺ひもしました事のない全く無關係のやうな私が――。

けれど皆々樣御聞き取り下さいませ、先生と私とはきつてもきれぬ或る結ばれた線が御座います。それは外でもありません。先生がかつてお若かい時分に御教へを受けられました先生さ、學校と、そして私の出た學び屋と先生とがおなじである事で御座います。先生も私も時代こそちがひませう。けれど變らぬまどから洛中の自然を愛しましたむろ吹きの花は激しい活社會を眺めました間柄で御座います。

かうした緣故から此度皆樣の御仲間に入れて戴きましたわけで御座います。そして皆樣の御消息を御うかゞひもし私の近況をも御しらせいたしますやうに御願ひをして、うれしくも御ゆるし得ましたのであります。どうか皆樣一人の無智な妹を迎へたとおぼしめして、萬事につきましてよろしく御引き立ておなしへ下さいますやう御願ひ申し上げます。とともに賢明な皆樣方と御一つしよに、近時の女子の覺醒や運動のやかましい折、切角めざめた明るい女としての修養を重れまして新眞の名にそむかぬ婦人としていさゝかでも、斯界につくしたい事を希望いたしてゐます。どうぞ皆樣御からだを御自愛なすつて下さいまし。まづ〳〵御挨拶かた〴〵かしこ。(二月十五日)

かにかくに

鷲尾よし子

山の手の逢初川の岸に添ひ冬暖うこもり居るかな

かにかくに家を持ちけり親をはなれ淋しともなく家を持ちけり

かにかくにさだめのきざはし一階をのぼりつくしし今日のわれなり

兩親を背に大人の如くふるまひし昨日のわれの幼かりしよ

高き樹に風鳴る夜なり對ひ居のしばし言葉の絶へてゐにけり

ふみにじるうすらつめたき枯草に冬の涙のしみる夕ぐれ

すぐならぬ人の心にかちあひし瞳をそらしては仰ぐ冬空

世に馴れぬ人に馴れ得ぬさびしさをいじらしく咲く冬の花かな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

電報

幸登子

○

大みそか。今年も今夜きりと思へばさすがに後悔や感謝や色々の感激に満されます。床についたのは十時過ぎでした。道連れはまだ起きて行火にあたりながら何かして居る樣でしたがそれもいつしかうつゝより夢へまた夢から現へ。とりとめもなくねむつて居りますと表の戸をあける氣配がして大きな呼び聲がきこえました。

○

電報！電報！早川さん電報ですよ！。

胸がひやりとして目がすつかりさめてしまひました去年の秋の眞夜中に召集令狀をつきつけられた時の事がさつと頭をかすめました。

これはきつとよい便りでないにちがひない。床の中に坐り込んで不安な心持でふるへて居る處へ道連れがその電報を開きながら持つて參りました。

ハハキトクスグコイ、

二人は繰り返し讀み直しましたが文は短かくても意味は明瞭。母が病氣なのだ。そうして重態なのだ。きつと風邪にかゝつて肺炎にでも變つたのではないかしら、シベリアで肺炎患者を澤山見て來た道連れはもうその危篤の光景を頭に描いて居る樣な風でした。

行かう、行くより外はない。

行くと云つても母の住んで居る處は北海道の眞中の旭川でどんなに急いでも二晝夜はかゝります。この電報の受附が午後の二時。東北線下り急行は午後の一時旭川に着くのが三日の朝。それまでに母の病氣はどう進行するでせうか。よくなるか惡くなるか。どうかよ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

くなつて居て下さればいゝ。
計畫が定まれば氣も落付きます。出發までもう十時間あまり、今は二時過ぎですけれどねたとてどうねられませう。私はこしらへかけてある着物を大いそぎで片づける事にしました。

これがめでたい元日の朝です。黃色い電燈のわびしさ。つめたい部屋の靜けさ。襟をかき合せても、かき合せてゝも寒い事さむい事。心がとくに旭川の方にとんで居るものですから火鉢が眼の前にあつてもそれに火を起す事に氣がつきませんでした。

新しい夜がほのぼのと明けました。道連れはそれまで橫になつて考へ込んで居りましたが眼をこすりこすり起きて來て共々に朝餉の仕度、思ひ切り火を起して寒さを一時に取り返しました。お雜煮も早々に祝つて雨戸を釘付けなどして居る中にかれこれ九時過ぎ。近所の兩三軒に年始旁留守を賴んでいよ〳〵出かける事になりました。

○

大ていの人は餘程さしせまつた用事でもない限りお正月早々の汽車旅行などはさし控へる事でせう。三等の車は大變すいて居りまして、すきな場所を自由に取る事が出來ました。

いくら氣ばかりあせつても汽車の速力はきまつて居ります。出がけにこの驛で求めた新聞雜誌もあらかたよみつくしてあとは時計の時間と停車場の數を指折るばかり、それでも一驛毎に寒さが加はつて來るやうな氣がしていくらか氣休めになりました。

○

どこからのつたのか分りませんでしたが親子連れの客がありました、十二三の女の子を頭に二人の男の子いづれも見すぼらしいながらに顏かたちの整つた可愛い樣子をして居りました。それに父親を加へて四人。父親は鼻の高いきりゝつとした人でした。荷物と云つては毛布一枚切りしかない樣でした。

夜更くるにつれていたいけな子供達は居睡りをはじめます。父親はこれを一人一人にいたはつて自分の半

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

天をぬいでせなかにかけてやつたり自分の帶をといて枕にあてがつてやつたり。しまひには自分の席もなくなつて掛腰の間に立ち上り無心にねむる子供達を見守つて居ります。小さい時うみの母を失ひ父一人の手で育てられた私には男親の苦勞と云ふものに充分同情が出來ます。まだ左程老年とも見えませんのに額に深くきざむ皺は貧のみの苦しみばかりではありますまい。

次ぎは盛岡です。父は先づ娘を起しました。

姉ア、さあ起きろ、家こさ來たよ。

幾度も耳許でさゝやかれて娘はねむい眼をこすりこすり漸く起き上りました。

おとさ。家こさ來たが皆して行くべ。

娘はいそいそとしてまだねむつて居る男の子供をつぎつぎに起しました。

盛岡！盛岡！。

汽車が止まつてしわがれた驛夫の聲がきこえます。

父親は子供を先きに降してから自分も靜に車の外へ。

外には雪がふりしきつて居りました。親子の連れは思ひなしか、しほしほと雪暗の中に消えてしまひました

○

青森には豫定より一時間おくれて朝の六時につきました。連絡船はすぐ出るとおどかされて朝の食事を取るひまもなく大急ぎではしけにのりうつりました。

雪は益々降りしきる。天地一色の暗灰につゝまれて家は寂然と佇んで居ります、重々しいやうな、またどことなくなつかしいやうな。そこには北國でなければ味はゝれない一種の情調があります。

停車場から埠頭場へ行く途中は名物の林檎店が軒を並べて居ります。

あんさま。あねさま。林檎コ買つてけへじや。

寒くて林檎どころぢやないよ、

わえは、そんだらおらだきだどりへすば。

これは雪の中に立つて居る林檎の賣り子と路行く人の會話であります。

○

船は隨分ゆれました。ボーイさんは仁丹入り用の方

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

はありませんか。ばけつ入用の方はありませんかとさけんで居ります。あわたゞしくばけつを呼んで居る人も澤山ありました。私達は幸ひみぐさい店もひろげずに正午近くなつて函館に上陸し

函館からまた汽車です。函館から旭川までの距離は殆ど上野から青森までと變りません。また十五六時間腰かけた切りでゆられるのかと思ふとうんざりしてしまひます。

私達の後に乘つた氣の利いた風の若い者が學生風の人をつかまへてしきりに身振り手眞似の漢語澤山で、ある村の出來事を話して居ります。

それはかう云ふ話でした。遂三四ケ月前の事、夫婦連れのお百姓が畑で草刈りをして居るところに突然大きな熊が出て來ました熊もおそらく不意に人に出會つてかつと取りのぼせてしまつたのでせう。いきなりその御亭主をねぢ伏せた時にはるかに之れを見つけた細君が電光のやうにかけて來て手に持つて居た鎌を力一ぱい熊ののどもとにある月の輪めがけてつきさしました。熊は大いに驚いて鎌をのどにぶつさげたまゝどこへとも知れず逃げて行きましたが　御亭主の傷も仲々深く近所隣りの人が助けて戸板にのせ札幌病院に送り込みました。熊はやがて大勢のために探し出され、とう〳〵銃殺の憂き目を見る事になりました。土の上にころがつて居るところは隨分大きなものであつたさうです。

○

三日の朝ようやく旭川驛につきました。母はどうなつた事でせう。迎のものに母の消息を聞くのはおそろしい様でした。大急ぎで下車しますと恰度よく弟が來て居りました。あいさつもなにもぬきにして母の容體を尋ねますと一時隨分心配したが今すこしよくなつたよ、との事にやれやれまあよかつた。二人は顔見合せてほつと重荷を下したやうな氣持がいたしました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

同郷人（二）

東大寺太代

其あけびの籠を、玄關傍にゐた若者が奥の離室まで持ち運んだ時、まさか其中に香はしい土が入つてゐやうとは　誰しも思ふものはなかつた。それで其重量が勝手の方の一問題となつてゐたのである。恒子も縁側に置かれた籠を、中へ入れやうと手がけたのではあつたが　到底持ち上らぬので、何がそこに入つてゐるのかと、ひそかに蓋の開かれるのを待遠しがつた事であつた。

「慾張りの私は　私へのおみやか、それとも子供達へのものかと思つてたんですのホ、、、、、」

意外な土産物を見せられた時の心地を想起して初めて晴々と笑つた。

「ホ、、、、」

「ホ、、、、、」

「ですが今日になつて見ますと、それは帯側よりも金塊よりも、あれだけの土、……唯、一斗ばかりの土を持つて來られたといふ方が、意味が深く、そして何だか有り難いやうに思はれますんですわ」

「さいですわ」

同郷人は、それを心から首肯して呉れた。

「それから幾度も移轉なはつたんどすな、このもみぢも？」

「えゝゆく先々へ殘して參りましたんです、少し變でムいますわね」

恒子は言ひやうのない淋しい眼で、此楓樹に絡る冷やかな、そして餘りに冷酷すぎる人々の生活を考慮てゐた。

「どないな家へ置いといやした？」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

客は今恒子が心の中に起しかけてゐる、激しい人間嫌ひの情を知る術がなかつた。

恒子は屹と口を結んで、もう物は言ひたらない、それは此土地のあゝした人々とは全然異ふ、母の故郷のこの楓樹を生んだ、美しい土地の優美な人ではあるそれでも、然し矢張り人間であつてみれば、……とつ、〳〵厭はしかつた越方の追憶に自然面を曇らせるのであつた。

「三年に四度も越したんですもの、よい思出の家なんぞありはしません。ですが殘して來た樹の事だけは、今どうなつてるだらうつて、折々考へ出しますわ」

家主といふ家主は、皆弱者の前に立塞る岩壁のやうな男ばかりだつたと恒子には念へた。客も微かに頷いた。

「初の邸は一とう長くゐたんですが、そこは母が亡くなつたり、何かした家なんで……」

そこから移り住んだのは河縁の眺望のある家であつたが、そこで海嘯にあつたのだつた。

「さん〳〵な目にお會ひやしたんどすな」

そこの家主は今から思へば、さして强慾非道な人とは言へぬ、所謂渡り比べて見れば、それが世間一般の家主らしいのであらう、が然しまだ世なれぬ、その辛酸とやらをなめ覺えの頃であつたので、終にお互を不幸にして了つたのであらう、敷金の幾分を返却て貰へぬ位の事、それはこちらが女子供であつて見れば世間では當然の事であるらしい……」

「まあ〳〵こちらの覺悟が足らないんですわ」

「そやけど、この世の中を、そないに七むつかしう狹う渡らんかて、お互さんにもつとゆつくり、寛ろいで手を引かんまでも、泥をはねかけあふやうな事をせんと置きたうごわんなア」

「さうですわ、本當にさうですわ」

恒子はたゞこれだけの、眞にあたりまへな事を聞くことを非常に嬉しく悦ばしげに眼を輝した。然しこれを活社會に働いてゐる友に言ひ送らうとは決して思惟しなかつた。恒子はそれほど世の中を怖れ、幼稚な自分を自覺してゐた。（未完　二月九日）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人社會問題講演會の反響

講演會に就て

高木ふよ

西川文子様の發起にて婦人社會問題研究會の第一回講演會が二月十四日午後六時から神田の青年會館に開かれました、私は乳呑兒のあるにも拘はらず好きな道なら何とやら萬障を繰合して前日から文子様にお加勢すべく示威運動にも出掛けました、當日午後の五時過ぐること十分と云ふに宅を出まして會館に着きますと未だ開會には二十分の間があるにも拘はらず早や會場口には人の山をなして居りました、それを横に見て幹部の控所へ行きますと文子様が奥の方から飛んで來て私を迎へて下さいましたので喜ばしく感じました、早川様や其他二三の同志の方々も既に來て居られまして彼れ此れとお話して居ます內にモー時間になりましたが未だ先生方のお見えにならぬ方もありましたので暫く見合して居りますと場內の方では可成一つぱいに成つて居りまして頻りと開會を迫つて居りますので夫れでは兎に角と云ふので開會の辭を述ぶべく演壇に立つて見ますと、實に滿員も滿員。階上階下立錐の餘地もない迄に成つて居りましたので意外の盛會に一寸驚きました、と同時に喜ばしく且つ賴もしく感じました、と云ふのはつまり社會も此一二年の間に大分進歩して婦人界の問題に對して餘程重視する樣になつたと云ふことが肯ぜられたからであります、然しながら尙一面に於て如何にもさもしく感じたのであります。それは是れ位の盛會であつて婦人の來會者も約三分通り位と思はれましたが其中にイチョウ返しや島田さては丸髷姿の方が一人も見えなかつたからで御座います、此等同性の方々は今日世界の趨勢を耳にし現在の日本婦人の位置權利に於ける狀態を見て何等感ずる處もないのでせうか、そして却つて吾々の會などを見て物好きなことをしてあるくお轉婆どもだ位な事を思ふて居られるのでせうか、私は了解に苦しむのであります如何に趣味思想が違い社會も違ふとは云へ同じ女性である限り今少し時勢を考へて婦人會を注目して欲しいと思ひます、斯樣な次第ですから吾々研究會では以後益々研究を重ねて眠れるが如き此等婦人達に警鐘を打ち且つ積極的に運動して婦人界に於ける諸問題を解決する迄努力せねばならぬと思ひます。

創立 明治二十一年三月
資本金 壹百萬圓
帝國生命保險株式會社
東京市日本橋區吳服町十六番地
電話(本局)九五・三三八・一六五七
振替口座東京九二九
社長 福原有信
常務取締役 北里袈裟男

▲森山精子様より　二月號三月號の新眞婦人ならびに會則落手いたしました。何れも大變におもしろく拜見いたしました。そしてあたくしの心が御思想がみなさまの御思想と共鳴出來たのは實にうれしう御座います。今は思想の大變革の時代とはなつて居ります。そうしてみな／＼さまのはいろ／＼さいろ／＼の改造をさけばれて止みません只三越や白木屋のカラコ人形となつて流行を逐ひそうして身には盛裝して地上の光をあびて滿足してゐる女が多い中に假令少數でも眞に目覺められて婦人社會を研究あそばされて御出での方々のあるのは私ほんとうにうれしい事と存じます●然し慾うしたこともいつになつたら實現される時がまゐるでせうか。みなさまの御力によつて男女同權になり又參政權等を得られて今までの壓迫――屈――より解放される時代はまゐりましても若しもいつまでも今まで通りの狀態に女子がなりましたならそうした解放を與へられましてもそれなどうあそばす事で御座いませう。一日も早く我日本女子の目覺められんことを祈り上げます。末筆ながら御會のます／＼御隆昌ならむことを祈り上げます。何卒よろしく末長く御指導下さいます。ことを御ねがひ申上げます。

▲山田愛子様より　御多忙の中から御端書難有う御座いました。先日青年會館で御目にかゝり御挨拶を申上やうと存じながら遂にその時を得ませず失禮いたしました、皆様ことにあなた様の御演説を承はりまして私も大に醒めるところが御座いました今迄無意義に送つた過去をとりかへしのつかぬものとして悲しくながめればなりませんが釘づけられた様なこれまでの生活をあの會に依つて一新致しましたことを、深く／＼感謝いたします何卒私の様な者をも會員の一人として加へられ今後も何かと御指導下さいますなれば結構なことで御座います早く御返事申上べきを外に出て働く身の多忙にまぎれ失禮致しました。

▲竹中しげ子様より　御端書誠に恐入ります御寒さの折から御活動御苦勞に存上げますが御盛會でして大慶に存上げます、色々な妨げの中からあれだけの辯士と御熱心とを得られなすつた事は近頃誠に特筆すべき御會であつたと存上ます。幸に辯論者方及御同人の御健康の上に惠みのあらん事を。

▲塚本なか子様より　御手紙拜見致しました。其夜は御承知の通り、己を得ぬ事情の爲ではありますが、誠に不本意の事ばかりで恥入りて居りましたのに思ひがけなく御禮にあづかり痛入つた次第で御座います、併し折角の御芳志故遠慮なくに拜受致しておきます、何れ近日御目にかゝつて親しく御禮申上たく存じます取あへず御返事までサヨナラ。

▲三角錫様より　昨日御出下さいましたのに丁度神奈川縣の方へ講演にまゐつた留守で失禮致しました、でも御盛會で結構でございました御丁寧な御禮書をいたゞきましてすみません只御運動の御手傳の幾分と存じて出ましただけなのですからあんなに心配はいりませんでした、折角の思召ですから書物でも買ひまして心の糧といたし申さうと存じます厚く御禮ヲ申上げます●

▲伊藤様より　過日は皆様の御演説を伺上候誠に嬉しく存じました是非入會致し度存じます、よろしく願ます。（麹町區飯田町六丁目廿一番地伊藤敬子同加代子）

▲奥うめお様より　先夜は私こそ失禮いたしました、なほ今朝ほどは大變なお心づかひにあづかりましてまことに恐れ入ります、厚くあつく御禮を申上げます、おかげ様で近頃に珍しい盛會で私までもほんとに嬉しく愉快でございました、昨日青年會館の方へまゐりました時にも近頃珍しい盛會であつた事を申してをりましたが、婦人の運動の前途まことに吉兆であつたと思つてをります、みな様の御盡力のほどこ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

れも併せて御禮申上げたく思ひます、そして今後は是非御一緒におあとについて進ませて頂きたうございます。

手紙の中から

▲張谷きよ様より　いつかの雑誌へ書くと云ふ力と云ふことを先生がお書き遊ばしました御言葉の通りいろ〳〵のことに注意するやうになるものでございます、このことが何よりも私をよろこばせたのでございます人様の前ではお話も出來ないやうな私考へれば考へるほど自信と云ふものは消えゆき單調な中に何の刺激も受けず平凡な月日を送つて居りますこの私が何かつまらぬことでも書いて見ますと病人がだん〳〵力ついてゆく快復期のやうなうれしさを覺え何でも書いて見たくてしかたがありませんのまだ雑誌代もお送りも致しませんが、三月上旬には上京致しますからその折參上致したく樂しみに致して居ります。

▲青柳キヨ様より　亂筆を持て申上候先日は色々御世話様に相成且誠に難有御禮申上候御蔭様にて無事暮し居候間御安心被下度先は御禮申上候
時下御大切に御遊す樣祈上候

▲高畑良子様より　先日參上致し御面倒申上候翌日麴町上二番町四十二植村俊平様方へ參り引つゞき御世話相成り居り候大黒屋の方より定めし通知られあつたことゝ存候何も御面倒恐れ入り候
御家庭のこと等も未だ十分には分りかね候へどもこれ位の御うちならば大して悪くもなからうと存し居り候
いづれに致し候も一旦御世話になりました上は外へ參りますのも心苦しく大した障りのなき以上いかなる家にても動くまじと決心致し居り候事故これ位の御家なら結構と存し居候御案じ被下まじく候
只今は少しごた〳〵致し居候へども今にかたづき候へば又其いとまには何なり自分の思ふことに心を入れたく存じて居り候何とぞこの支部會員にお入れ被下度お集りの節等切しらせ頂きたう存じ候
いかなる位置に相なり候も心のみは高尚にます〳〵つとめ度それのみ念じ居り候
愚者の致すことお笑ひ被下度候

▶北村ちつ子様より　突然ながら一筆申上候いまだ寒さ去りかね候處御一同樣御機嫌よう居いで被下候や、毎度雑誌御送附有難く存上候時代に適應せる雑誌はいよ〳〵必用に御座候益々御奮發願上候學校時代には御芳名たしかに承知いたし覺え居候へ共御かほは忘れてしまい候私は御存じの通二十年近く田舍にのみ暮し居候故本當の田舍者に相成候田舍は物質に不自由のいはすもかなに候へ共精神上には別に不自由はいたさずくらし居候幸に御安心被下度候近來皆樣何かとお役に立たれ候も家事に追われてのみ日を送り候もあまりと存候つれ〴〵てはなく多忙といへば可なりひまなくくらし居候へどもさりとてもこのまゝに日を送り候へばそれ迄に候いさゝかなり共御仕事の御役に立てば本望と存候

日清生命保險株式會社
専務取締役 池田龍一
支配人 原田駒之助
丸之内東京驛前

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女子修養塾特約宿泊所

女子修養塾青葉の舍にては、かれて職業婦人の爲めに、理想的の宿泊所を設けたいとの希望ですが、どうもまだ適當な家がないので、致し方がありません。所が神田北神保町十一重陽亭、宮武はる子さんが、ソレは私の方で引受けてあげてもよろしいとのことで、渡りに船と早速そう云ふことに願ひました。宮武さん夫妻は共に教育も立派な經驗もある方で、確實で親切な方であります。就ては職業婦人で適當の宿所を求めらるる方々は、御相談下さい、尙ほ本誌の愛讀者諸姉の家族の方なり、御知人の方なりが御上京の場合には、前以て御相談下されますと、御便宜を計ります。

青葉の舍規約

一、職を求むる婦人、學資の足らぬ婦人、求職者其の他の相談に應じ、職業の周旋を爲すと共に、場合によりては一時本舍に收容保護するを以て目的とす。

二、本舍が御世話せし人々を會員とし、會員は其の目的を達せし後、本舍へ任意の感謝金を寄附すべき義務あるものとします。

三、本舍の經費は、會員の感謝金と、名譽賛助員の寄附金を以て支辨します。

四、本舍の報告は、凡て新眞婦人誌上で發表します。

青葉の舍賛助員芳名

新渡戸稻造氏　高島平三郎氏　與謝野晶子氏
吉岡彌生氏　戸野みちえ氏　宮武はる氏
東大寺太代氏　小村夏子氏　中村久六氏
中島徳太郎氏　横山幸次郎氏　古谷精一氏
石川貞吉氏　高島米峰氏　伊藤きん氏
鈴木精二氏　武居俵十郎氏　逸見斧吉氏
遠藤はつ氏　竹内茂代氏　澁澤榮一氏
中村松乃氏　小川榮一氏　森村市左衛門氏
大倉喜八郎氏　戸板せき氏　齋藤紀一氏
篠田せい氏　名生ゆき氏　長谷川屋游氏
橘昌三郎氏　柿花啓正氏

青葉の舍賛助金受領

三圓　松岡つな氏
一圓（第四回）　橘昌三郎氏
拾圓（第二回）　柿花啓正氏

新眞婦人定價表（毎月一回一日發行）

一冊（郵稅共）	貳拾錢
半年分（郵稅共前金）	壹圓廿錢
一年分（郵稅共前金）	貳圓四拾錢

◉新眞婦人廣告料　特別面三十圓、一等廿五圓、二等二十圓、普通面十五圓、木版を要するものは別に實費を申受くべし

大正九年三月廿八日印刷納本
大正九年四月一日發行

本鄕區駒込動坂町三二七番地
發行兼編輯人及印刷人　西川文子

下谷區入谷町三百九十六番地
印刷所　博眞堂

東京市本鄕區駒込動坂町三二七
新眞婦人社
郵便振替貯金口座東京二四五五六

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人生の福音

オキシヘーラー

登録商標

酸素療養器

▼オキシヘーラーの顯著なる事使用僅か五分間を出でずして三乃至五ｍ.ｍの血壓を亢め一時間を繼續すれば實に十乃至三十ｍ.ｍの活力を増進す試に血壓計、脈波計等を以て驗せば其調節の狀を明にし又各自は脈搏、呼吸の整調に依て自覺せらる

▼靈妙なる磁機應用の本器は斯して血液中の酸素吸引力を増大し健康の元素を補ふが故に難治の疾病を根治するに空前の偉力を有す論より證據使用者は忽ち脈搏強實となり全身の温暖、呼吸の深長を感じ次で熟睡、解熱、鎭痛、食慾の亢進、兩便の快通等生理的本能を回復するの神速なるは實に天下の奇蹟也

▽特色（使用法簡易効力永久不滅にして電池の如く消耗する物にあらざれば器械購入以外永遠に何等費用を不要

■正價金參拾五圓■

東京市牛込區箪笥町三十一番地

オキシヘーラー奬勵會

電話番町四六九八　振替東京二七七一二

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日記は
實業之
日本社
に限る

大正十年 懐中ノート

日記と手帳と出納帳とを兼ね携帯に頗る便利

ポケットにもはいればカバンの中にも入れられますから、旅行にも外出にも携帯が極めて便利です。それに形はよし、紙質が上等で、製本も極めて丈夫、淑女用やお子様用として最も氣が利いたものです。

特製 ◇定價七十錢郵税四錢 ◇袖珍型皮製天金

上製 ◇定價五十五錢郵税二錢 ◇袖珍型クロース製

□申分のない日記□

大正十年 婦人日記

一度用ひたら外の日記はとても使へぬ

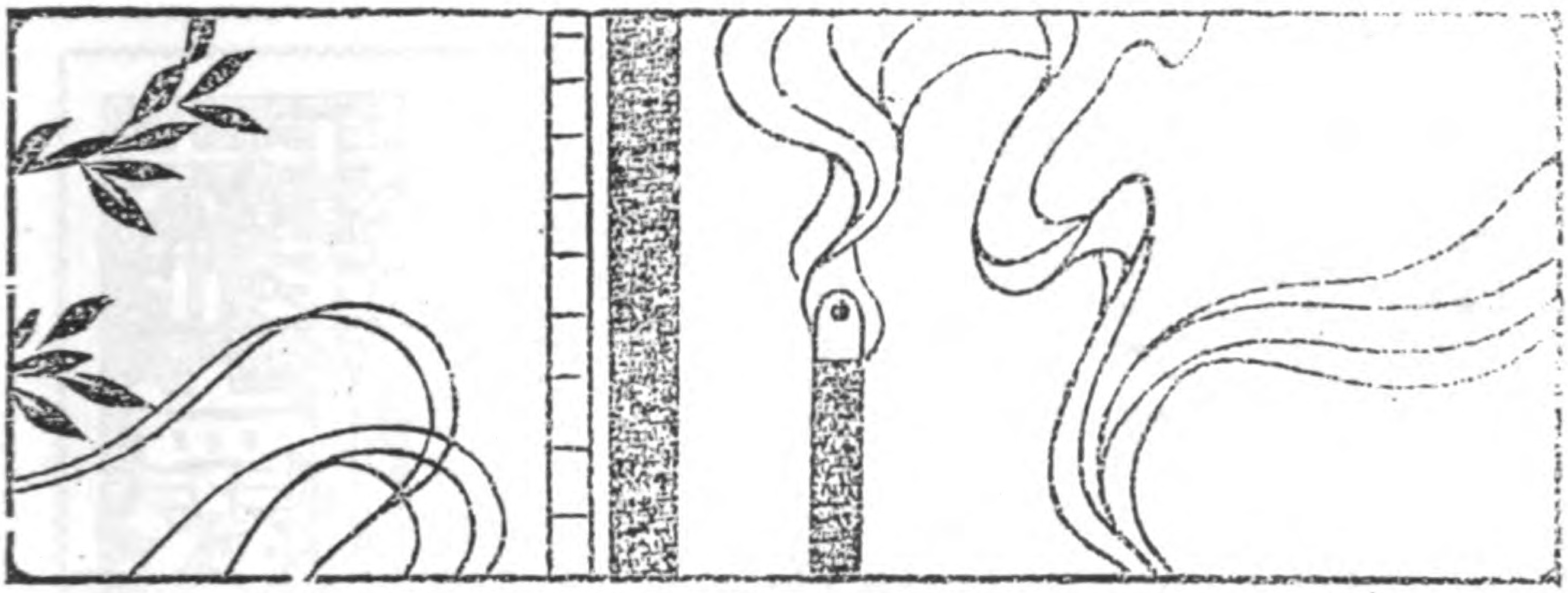
▼内容は完備 ▼印刷は鮮明
▼體裁は優美 ▼製本は丈夫
▼紙質は上等 ▼附錄は重寶

(内容一斑)

皇室皇族…歷代年號…略暦…家計の取り方…しみぬき法…子女のしつけ方…救急療法…漬物の漬け方…訪問の心得…日常の衛生…金錢出納錄…收支一覽…貯金錄…贈答品の控…家族健康錄…通信要錄…知人錄…備忘錄…郵便電信案内…郵便爲替及び貯金…恩給年金受取方…生命保險…汽車旅行の注意…食用品分析表…年中總菜獻立表…各人毎日吉凶表…其他數十項

◇定價壹圓郵税六錢◇
◇四六判總布頗美本◇

東京京橋
南紺屋町
實業之
日本社
振替東京
三二六番



十二月號目次

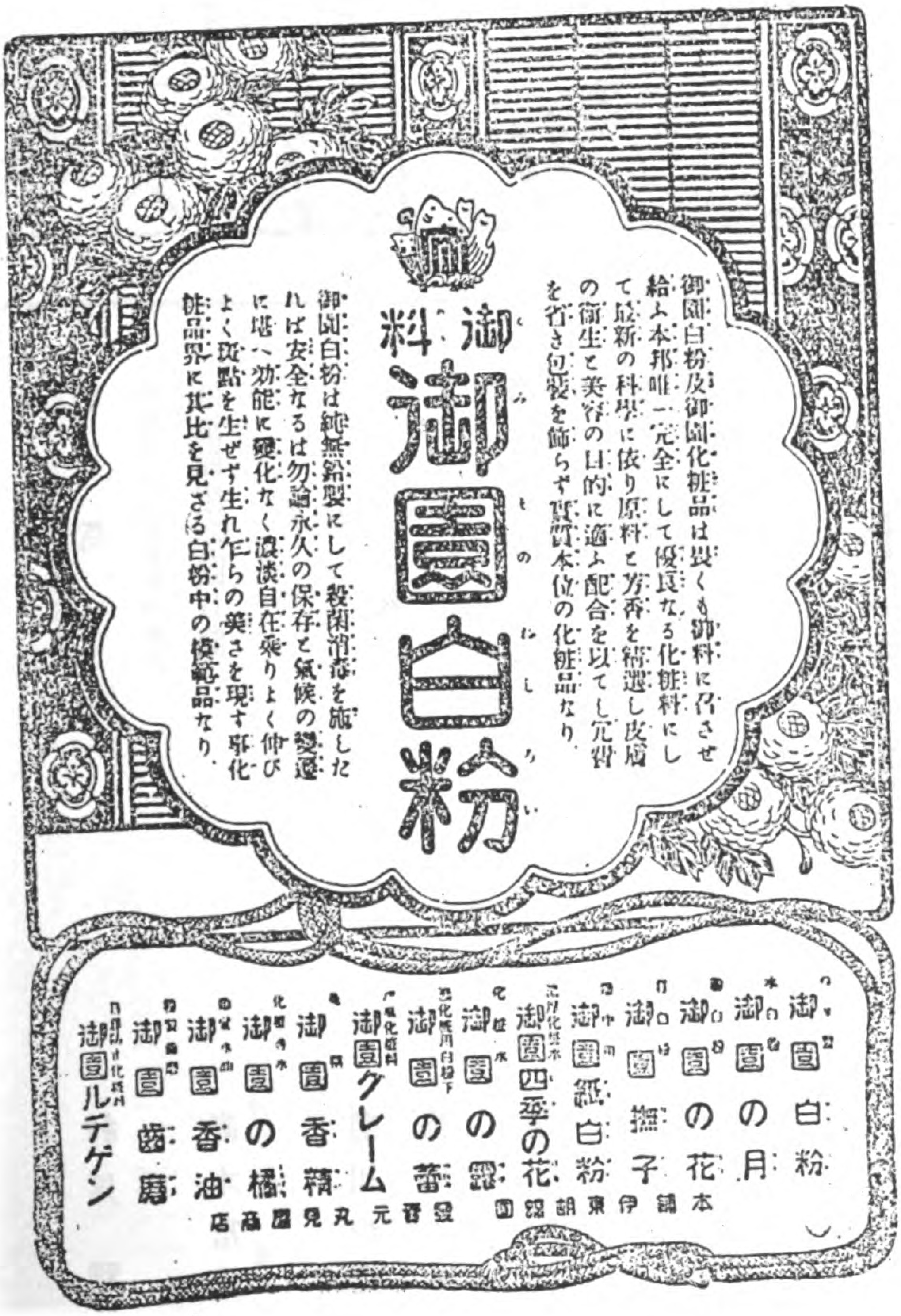
表紙　早川桂太郎氏筆
年末に際して　文子（一）
妻を讃美する夫　西川文子（三）
勞農露國の內情
低唱　橘三郎（八）
秋　村尾雅子（九）
米國婦人、五十年の努力
兒童衛生展覽會を見て
食用蛙

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

カルシウムの服用　記者（三）
彼等　村尾雅子（四）
飲酒制限運動日記　高木富代子（一七）
訪問記　碧川かた子（一八）
梅田あき子
路傍宜傳の記　碧川かた子（三二）
報告
手紙の中から

十二月一日發行

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

飲めばすぐきく自慢の胃腸薬

健胃整腸散　一名永島胃腸薬

醫師其他の薬にて効なき方は本劑を試し見られよ此の効能實に妙なり

定價八〇錢四〇錢　送料內地十二錢

權威有るめぐすり中の大親玉

整眼一滴水　一名永島目薬

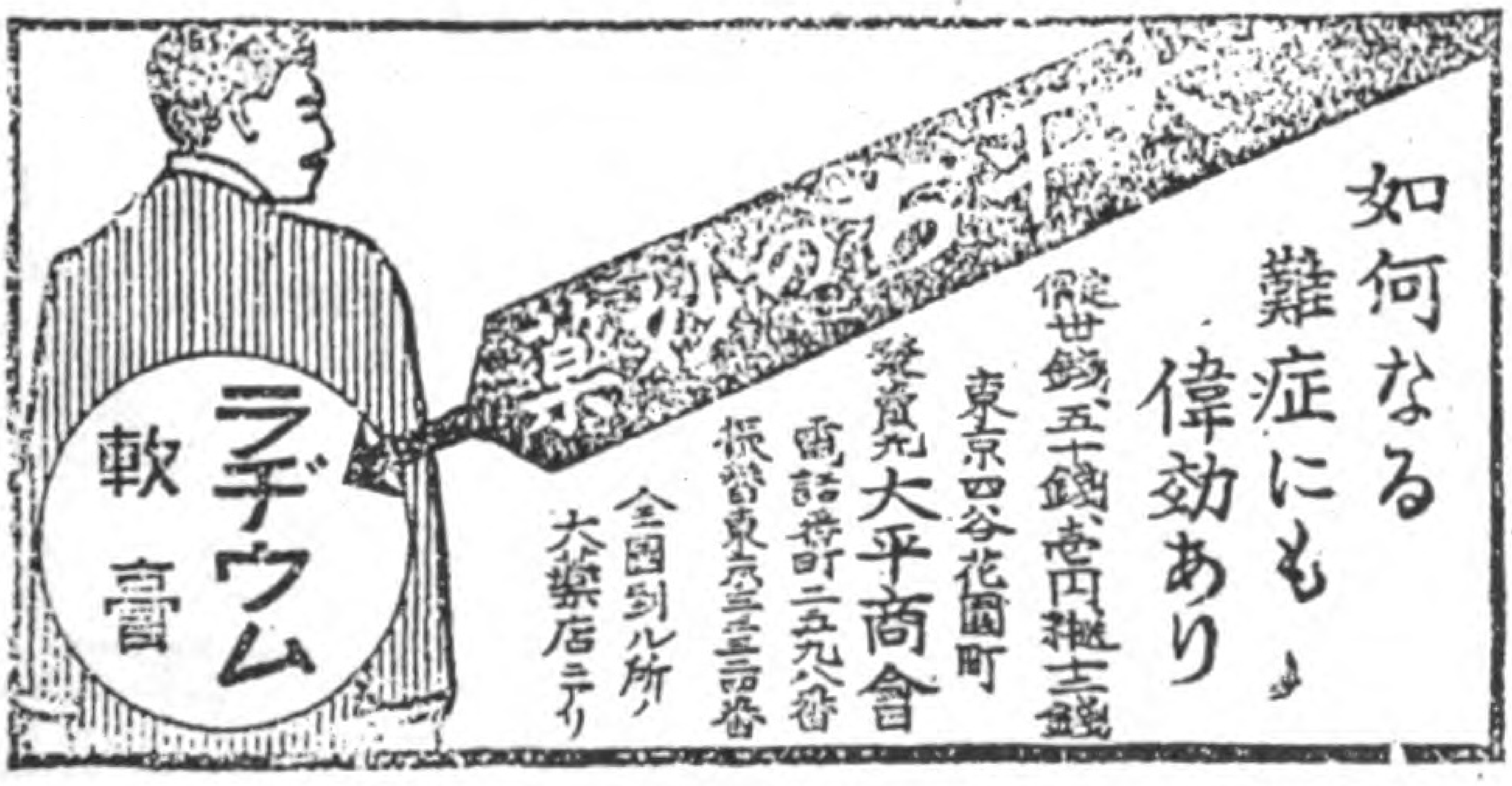
本劑を使用せばいかなる難性の眼病とゆる共たちまちなをります

定價点眼器付卅五錢同廿錢送料三個迄內地十二錢

製造發賣元

東京市神田區東紺屋町四番地

永島德次郎



㊟文學博士 坪内逍遙 譯

（沙翁傑作集第十七篇）

The Taming of the Shrew

ぢや〲馬馴らし

四六判布製函入 全一冊

木版挿圖數個入

正價金貳圓五拾錢

郵税金拾錢

沙翁立身前後に流行つたファース仕立の思ひ切つて蠻から式な喜劇の代表作である、其れ自ら一喜劇である。開幕劇へ本筋の喜劇を編み込んだ趣向が先づ最も珍らしい。雷聲が雷娘を難なく征服する段取に至つては更にをかしい。不思議に今も尙歡迎される喜劇である。我國でも其幾場かは飜案された。本譯には例の挿繪以外に特に名優の寫眞數葉を挿入した。

〔既刊〕

ハムレット	ロミオとジユリエツト	オセロー
リヤ王	ジユリヤス・シーザー	ヹニスの商人
テムペスト	アントニーとクレオパトラ	眞夏の夜の夢
マクベス	以尺報尺	冬の夜ばなし
リチヤード三世	ヘンリー四世（二部）	お氣に召すまゝ

各冊貳圓五拾錢

郵税各拾錢

發行所 東京牛込早稲田 振替一一二三番 早稲田大學出版部

（賣捌）東京堂、至誠堂、北隆館、東海堂 大阪盛文館、名古屋星野書店（其他）

◈ 歳暮大賣出し 十二月一日より
寄せ切れ格安品取揃へ

白木屋呉服店

◈ 特製羽子板陳列 十二月一日より

◈ 正月用品陳列 同一日より

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA